

令和5年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	・「自分らしく生きる力」を育てるため、小学部から高等部までの一貫した教育活動の実践と教育課程を確立する。	① 授業改善の仕組みづくりを推進し教育活動の質の向上を図る。 ②保護者に学習内容をわかりやすく示すことにより、開かれた教育課程を推進する。	①学年会等を活用し、単元計画を軸とした授業改善の仕組みづくりを推進する。また、個別教育計画の計画的な見直しを行い、内容を踏まえた授業実践を行う。 ②保護者への年間計画の提示や学年日より等により、日々の学習内容をよりわかりやすく伝える工夫を行う。	①授業改善の仕組みづくりが推進できたか。個別教育計画を計画的に見直し、授業実践を行ったか。 ②保護者へ学習内容をわかりやすく伝えることができたか。
2	児童・ 生徒指導・ 支援	・児童・生徒一人ひとりのコミュニケーション力の向上をめざし、個々の特性に応じて、人権に配慮した指導・支援を組織的に行う。	① 自分の気持ちや考えを適切に伝えることができるコミュニケーション指導、支援を行うとともに、家庭や地域でも活用できるよう情報発信を行う。 ②人権尊重の視点に立ち、専門性を発揮した指導、支援を行う。	① これまでのコミュニケーション指導について自立活動の視点で見直す。また、将来を見据え、保護者、事業所、進路先に本校の取り組みや実践について情報発信を行う。 ②「さん」付け呼称の他、具体的な行動指針について確認し、学部ごとに定期的な振り返りを実施する。	①個々に合わせたコミュニケーション手段の獲得ができたか。また、家庭や地域での活用が進んだか。 ②人権に配慮した指導について学部内で定期的に確認することができたか。
3	進路指導・ 支援	・自立と社会参加をめざし、児童・生徒一人ひとりのニーズと適性に合った進路指導・支援を行う。	① 系統性や発達段階を意識しながら、家庭と連携し、自立と社会参加に必要な力の育成を図る。 ② 保護者のニーズをとらえ、進路に関する情報提供を行うことにより、適切な進路指導につなげる。	①学部ごとにテーマを決め、学部内、学部間で指導の系統性について確認し指導を進める。 ②学部や学年ごとに進路学習会や懇談会を実施し保護者のニーズをとらえた情報提供を適宜行う。	①学部ごとのテーマに沿った指導の実践により、個々の力が身についたか。 ②保護者のニーズに沿った情報提供ができたか。
4	地域等との 協働	・共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育の推進及び障がいのある子どもの理解をすすめるため、地域との連携、協働による活動を展開する。	①居住地や地域の学校との交流及び共同学習の充実を図る。 ②地域資源の活用を通し、地域との連携および協働を充実させる。	①交流及び共同学習がより充実した内容になるよう、相手校と目的や内容を明確にして計画をすすめる。 ②地域貢献活動や地域資源を活用した教育活動をすすめる。また、ボランティア活用を再開する。	①地域の学校との交流及び共同学習がより充実した内容で実施できたか。 ②地域貢献活動や地域資源を活用した教育活動ができたか。
5	学校管理 学校運営	・安心・安全な学校づくりの推進のため、危機管理体制の確立を図る。 ・教職員の専門性の向上及び不祥事の未然防止を図る。	①各マニュアル、ガイドラインの活用しやすい整備方法について検討、実施する。 ②速やかな報告・連絡・相談を徹底し、事故・不祥事防止の意識を高める。	①各マニュアルやガイドラインの整備する場所、整備方法を整える。また、必要に応じて柔軟に見直す。 ②ヒヤリ・ハット報告を迅速に全職員で共有できる仕組みを整理する。9月、1月に振り返りとその後の検証を行う。また、防犯と職責意識の向上のため、名札着用を徹底する。	① 各マニュアル、ガイドラインが整備され、活用できたか。 ②ヒヤリ・ハット事案を定期的に振り返り、事故・不祥事が防止できたか。また、名札着用が徹底できたか。